

## 予 算 決 算 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成31年3月11日（月）  
午後1時00分 開会 午後3時35分 閉会  
平成31年3月18日（月）  
午後3時29分 開会 午後3時44分 閉会
2. 場 所 本会議場、全員協議会室
3. 出席委員 【予算決算常任委員会】  
灰田昌典委員長、宮西健吉副委員長、南藤陽一委員、井田秀喜委員、木下裕介委員、新田寛之委員、吉村範明委員、浅村起嘉委員、梅田利和委員、吉本慎太郎委員、高野哲郎委員、片山瞬次郎委員、出戸清克委員、二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員、橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員、北出隆一委員、杉林憲治委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題  
議案第1号 平成31年度小松市一般会計予算  
議案第2号 平成31年度小松市国民健康保険事業特別会計予算  
議案第3号 平成31年度小松市介護保険事業特別会計予算  
議案第4号 平成31年度小松市公債管理特別会計予算  
議案第5号 平成31年度小松市産業団地事業特別会計予算  
議案第6号 平成31年度小松市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第7号 平成31年度小松市水道事業会計予算  
議案第8号 平成31年度小松市下水道事業会計予算  
議案第9号 平成31年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算  
議案第10号 平成30年度小松市一般会計補正予算（第5号）  
議案第11号 平成30年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）  
議案第12号 平成30年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）  
議案第13号 平成30年度小松市公債管理特別会計補正予算（第3号）  
議案第14号 平成30年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算（第1号）  
議案第18号 こまつ曳山交流館条例の一部を改正する条例について  
議案第19号 ジャパン九谷のふるさと松雲堂条例の一部を改正する条例について  
議案第20号 ひととものづくり科学館条例の一部を改正する条例について  
議案第21号 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について

議案第 22 号 小松市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 23 号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について

議案第 25 号 小松市森林環境保全基金条例について

## 6. 委員長報告の要旨

予算決算常任委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。当委員会に付託されました案件は、議案第 1 号から議案第 14 号、議案第 18 号から議案第 23 号及び議案第 25 号の以上 21 件についてであります。

これらの案件につきましては、まず 3 月 11 日に会議を開き、総括質疑を行うとともに、引き続き 12 日に各分科会を開催し、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は 18 日に会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。分科会委員長報告の主な内容を申し上げます。

分科会委員長報告などの主な内容を申し上げます。

### ■議案第 1 号 平成 31 年度小松市一般会計予算について

(仮称) 2040 年ビジョン策定費については、ビジョン策定に係る事前調査、データ分析のための委託等に要する経費とのことであります。

2040 年には、人口減少や少子化・超高齢化が一層進むことが予想されることから、議会と行政が一体となり真剣に取り組んでいくことが大切であるとの意見が出されました。

### ■職員人件費について

職員の退職により、他の職員への負担とならないよう適正な人員確保を行うことや、専門性の高い人材の採用で質の向上に努めるよう、また、国などの外部機関との積極的な人事交流を求める意見が出されました。

■防災体制強化費のうち、避難所要配慮者向け用品の整備について、高齢者など配慮を要する方が過ごしやすいように避難所用ソフトマット、ダンボールベットなどを追加することとあります。一部の委員より、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）をお持ちの方々の装具への配慮も検討するなど、今後もさらにやさしい避難所づくりに取り組むようにとの意見が出されました。

### ■老人クラブ活動費補助金について

生きがいや健康づくり、ボランティアを目的とした事業に対する活動費の助成のほか、平成 31 年度より、地域のつながり強化や健康寿命の延伸を目的とし、65 歳から 74 歳までの老人クラブへの加入率や歯科健診受診率、80 歳で 20 本以上の健康な歯を持つ方の受賞者数に応じたインセンティブ制度を創設し、対前年度比で 500 万円増額したものであります。

一部の委員より、老人クラブのイメージアップや市民の意識改革につなげていくためにも、「老人クラブ」という名称を小松市独自で変更するよう求める意見が出されました。

### ■シルバー人材センター移転整備費について

公益社団法人シルバー人材センターの事務所が現在入居している高齢者生産活動センタ

一の建物が新耐震基準を満たしていないことや、施設への進入路の傾斜が強く、高齢者にとって利用しづらい環境にあることなどにより廃止となるため、事務所の移転先として予定されている旧中海保育所を改修するための経費であります。

シルバー人材センターの事務所については、公益社団法人としての性質上、小松市が移転先を提供するものでありますが、一部の委員より、シルバー人材センターの理事会において移転場所についての承認がされていないことから、現時点で本予算案に賛成しかねるとの意見が出されました。

#### ■図書館管理運営費について

本館の光熱水費や修繕費等の維持管理に要する経費であります。一部の委員より、昭和56年の建設から37年余りが経過し、施設や設備の老朽化やスペース不足が指摘されているところでもあるため、市内外にアピールできる新しい図書館の建設について前向きに検討するよう求める意見が出されました。

#### ■虐待防止対策費について

小松市くらし安心ネットワーク協議会の委員報酬やDVシェルター利用代等に要する経費とのことですが、特に社会問題化している虐待やDV対策の更なる推進のためにも、協議会における各専門部会の活動や関係機関相互の連携を強化していくよう求めました。

#### ■彰化市交流費について

友好交流都市台湾・彰化市への代表訪問団の派遣及び、現地での日本庭園建設に要する経費とのことですが、日本庭園の存在を一つの軸とし、小松市・彰化市、両市の市民相互の交流が活発に行われる仕組みをつくり、本市の国際交流の進展を図るよう求める意見が出されました。

#### ■こまつ五彩ブランド推進費について

小松の九谷焼の振興と人材育成、ブランドの確立のため、九谷焼工芸祭やセラボ九谷を拠点とした魅力発信を行なう事業とのことですが、地元には、若杉窯や蓮代寺窯など再興九谷焼の名品が数多く存在することから、地元の貴重な美術工芸品を保護し、活用していく活動を求める意見が出されました。

#### ■こまつ曳山交流館管理運営費について

こまつ曳山交流館みよっさの管理費や運営業務委託料とのことですが、現状では、全入館者に占める外国人の割合は多くはないものの、今後、海外からの誘客を見込める施設であると考えられます。外国人向けの和 문화体験メニューの充実を図る等の工夫をしているとのことですが、建設当時とは変化している社会背景を考え、新たな戦略を立てるなど更なる魅力向上に努めるよう求める意見が出されました。

#### ■安宅の関整備費及び安宅公園リニューアル整備費について

安宅の関整備費において、勧進帳ものがたり館の大画面シアターの導入など大規模な整備を予定しているとのことですが、費用対効果のある充実した施設整備を求める意見が出されました。また、安宅の関全体をひとつの景観スポットとして捉え、一体感のある空間となるよう求めました。

### ■産業競争力強化費について

経営モデルチェンジ支援事業や産学官共同研究促進事業などに要する費用であります。経営モデルチェンジ支援事業のうち経営革新等については、補助率区分を業種別から投資額へとわかりやすく変更することとありますが、対象となる投資額が400万円からと設定されており、金額の制約があることから、必要に応じて柔軟な対応を求める意見が出されました。

### ■プレミアム付商品券発行費について

本年10月に予定されている消費税増税における景気対策の一環として発行されるプレミアム付商品券の印刷やPR活動等に要する費用であります。このほか、国における消費税増税の対応としては、小売店への複数税率に対応したレジ導入支援や、決済端末の導入補助などの事業が行われるとのこととありますが、消費税増税対策とキャッシュレス化対策の導入時期が一緒になっていることから、各制度の理解が進むよう、どういう店が対象なのか、地元へわかりやすい説明を求める意見が出されました。

### ■未活用住宅等対策費について

老朽危険空き家の解体補助金等に係る費用とのこととあります。少子高齢化の進展により想像以上の空き家予備軍の存在が想定され、老朽危険空き家問題の解決がさらに厳しい局面を迎える中、制度的な改正がいないのではないかと意見が出されました。老朽危険空き家については、いち早く「小松市空き家等の適正管理に関する条例」を制定し対応されており、先般12月定例会においても危険回避のための応急措置を追加するなどの改正がなされたところであり、国の法整備と合わせた今後の対応に期待するものであります。

### ■北陸新幹線建設推進費について

一部の委員より、地元負担が発生するため、新幹線の負担金支出については反対であるとの意見が出されました。

### ■議案第2号 平成31年度国民健康保険事業特別会計予算について

保険給付費については、高額療養費の伸び等により一人当たり医療費が増大してきていることから、生活習慣病対策や保健事業の更なる推進により、保険給付費の抑制に努めていくよう求めました。

### ■議案第20号 ひとつものづくり科学館条例の一部を改正する条例について

年間パスポートについては、平成31年4月1日より料金設定を改め、大人3,000円、高校生以下1,500円のほか、新たにファミリー（大人1人+高校生以下1人）4,000円とカップル（大人1人+大人1人）5,000円を設定することとあります。

「カップル」については、異性のみならず大人同士で様々な組み合わせが可能であるとのことと、よりわかりやすい表現に努めるよう求めました。

■議案第21号 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について一部の委員より、消費税増税により市民負担が増加するため反対であるとの意見が出されました。

なお、採決の結果、議案第2号から議案第14号、議案第18号から議案第20号、議案第22号、議案第23号及び議案第25号の以上、19件は全会一致をもって、議案第1号及び議案第21号の2件は賛成多数をもって、いずれも原案どおり可決すべきものと決した次第であります。